

都市再生整備計画(第5回変更)

みなまたちゅうおう
水俣中央地区

くまもと 熊本県 みなまた 水俣市

平成26年8月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	熊本県	市町村名	水俣市	地区名	水俣中央地区	面積	800 ha
計画期間	平成 22 年度 ~ 平成 26 年度	交付期間	平成 22 年度 ~ 平成 26 年度				

目標

大目標：環境モデル都市づくりを基盤に豊かな自然と資源に包まれたぬくもりのあるまちを目指す

- 目標1：市民の憩いの場等を充実させ、市民の交流促進や地域活動の形成・継続を図る
- 目標2：観光資源の再生を図り、観光の振興と交流人口の増加を創出する
- 目標3：環境モデル都市にふさわしい低炭素社会の形成を推進する

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

＜経緯＞
 ・本市は、経済成長の過程で発生した水俣病を経験し、その教訓をもとに平成4年に日本初の「環境モデル都市づくり宣言」を行い、市民と協働で、ごみの高度分別・リサイクルに取り組むとともに、水俣オリジナルの家庭版・学校版等の環境ISO 制度、環境マイスター制度、地区環境協定制度などを立ち上げ、リユース・リサイクル、省エネ・省資源、市民の森づくりによる地球温暖化防止活動や環境保全活動の取り組みを行い、2008年7月22日には国より小規模市町村モデルとして「環境モデル都市」に認定された。
 ・平成14年には「水俣市中心市街地活性化基本計画」を策定し、三本の柱（環境、商業の活力、生活）を中心にして、環境体験型の観光まちづくりやまちなかの魅力となる拠点づくり等を推進し、様々な交流の輪を広げる施策を展開してきた。

＜現況＞
 ・近年、環境モデル都市づくりの取り組みにより教育旅行や環境学習などの入込客は増加している。しかし、山の「湯の鶴温泉」と海の「湯の児温泉」、豊かな自然と観光資源に恵まれているが、観光地間の競争激化、観光客の志向変化などにより、観光客入込数は減少・低迷が続いている。特に水俣最大の観光地である湯の児温泉地域の観光客入込数は、平成11年から平成20年で約50%以上の減少となっている。

課題
 ・市民や観光客の憩いの空間（観光拠点）としての公園を形成するための再整備を図る必要があり、施設の老朽化や維持管理及び長寿命化等に対応した施設整備等を含めた対策を図ることが必要である。
 ・交流人口の増加は地域の活性化の重点課題であり、湯の児温泉地域の再生は急務である。
 ・平成23年春に九州新幹線が全線開通となるため、九州内をはじめ中国・近畿地方等からの誘客等、交流人口の増加をいかに図るかが課題である。
 ・環境モデル都市の認定を受けており、低炭素化社会に向けた施策展開を図り取り組んでいく必要がある。

将来ビジョン（中長期）
 ・第4次水俣市総合計画の基本構想にエコボリスみなまた構想を掲げ、「人・環境・経済がもやい輝くまち」を目指して取り組んでいる。
 ・水俣市都市計画マスタープランにおいて、「呼吸する都市（まち・むら）」を将来都市像として実現を目指している。
 ・第2次水俣市環境基本計画を「環境まちづくり基本計画」と位置づけ、市民参加によるワークショップから導き出された環境施策を「もったいない」「エコビジネス」「環境まちづくり」「エコ生活」「環境教育」の5つに分類し、水俣の環境像・都市像・ライフスタイルを描いている。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
					基準年度		目標年度
公園の維持管理等への参加人数	人	主要な公園の維持管理に参加した人数	市民や観光客の憩いの場等の公園を整備し、市民の交流促進、地域活動の形成・継続を図るため、施設の維持管理の参加数を増加させる。	231	H21	277	H26
観光客入込み数	人/年	観光統計調査データ等により把握できる、地区内の宿泊施設や観光施設等を利用した観光客入込み数	観光の振興を図るため、観光資源の再生・整備を推進し、現在落ち込んでいる観光客入込み数の将来的な減少をくいとめていく。	144,000	H20	144,000	H26
温暖化対策の満足度	%	水俣市の温暖化対策について市民の満足度調査	環境モデル都市にふさわしい低炭素社会の形成を推進するために「水俣市環境都市モデル都市アクションプラン」と連動した温暖化対策についての満足度を向上させる。	4.2	H21	15	H26

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1(市民や観光客の交流や活動の場としての公園整備等を推進する)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民や観光客が利用、交流のできる公園として、交流スペースの設置やUD化に対応できた温泉地の玄関口にふさわしい公園を再整備する。 ・市街地から湯の児温泉に至る道路沿いの、不知火海に面した風光明媚なりアス式海岸等を活用した公園を再整備する。 ・中尾山公園のコスモス園等を活かしながら、市民による管理の充実を図りつつ、多くの人で賑わう公園の再整備を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「湯の児公園整備事業(都市公園)」基幹／公園 ・「和田岬公園整備事業(都市公園)」基幹／公園 ・「中尾山公園整備事業(都市公園)」基幹／公園 ・「大崎鼻公園整備事業(一般公園)」基幹／公園 ・「湯の児島公園整備事業(一般公園)」基幹／公園 ・「公園案内板整備事業」提案
<p>整備方針2(観光振興を図るため観光施設等の整備や景観整備を推進する)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・湯の児温泉への導入道路を景観に配慮した整備を図り、温泉地にふさわしい施設整備を推進する。 ・湯の児温泉とその周辺の主要な観光施設の整備し、温泉地とその周辺地域の趣きを醸し出す整備を推進する。 ・各施設をつなぐレンタサイクルを導入して、市民や観光客等の利便性や快適性を向上させ、手軽に各施設を巡ることが出来るよう推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「市道湯の児線景観整備事業」基幹／高質空間形成施設 ・「案内板整備事業」基幹／地域生活基盤施設 ・「観光釣り船用浮き桟橋設置事業」提案 ・「フィッシングパーク再生事業」提案 ・「憩いスペース(ポケットパーク)整備事業」基幹/地域生活基盤施設 ・「レンタサイクル導入事業」提案 ・「自転車のまちづくり推進のための道路調査」提案 ・「観光振興計画調査」提案 ・「観光関連の研修・PR活動等支援」提案 ・「事業効果分析調査」提案
<p>整備方針3(環境モデル都市にふさわしい環境に配慮した整備を推進する)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自転車のまちづくりを推進するために、レンタサイクルの導入や自転車走行帯の確保検討を推進する。 ・だれもが快適で潤いがあり、自然エネルギー等を活用する環境に配慮した公園の整備を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「レンタサイクル導入事業」提案 ・「自転車のまちづくり推進のための道路調査」提案 ・「湯の児公園整備事業(都市公園)」基幹／公園 ・「和田岬公園整備事業(都市公園)」基幹／公園 ・「中尾山公園整備事業(都市公園)」基幹／公園 ・「大崎鼻公園整備事業(一般公園)」基幹／公園 ・「湯の児島公園整備事業(一般公園)」基幹／公園
<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交付期間中の計画管理(モニタリング)を実施する予定である。 	

交付対象事業等一覧表

交付対象事業費	673.2	交付限度額	261	国費率	0.388
---------	-------	-------	-----	-----	-------

(金額の単位は百万円)

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度					
公園	湯之児公園整備事業(都市公園)	湯之児公園	水俣市	直	0.4ha	H23	H24	H23	H24	60.7	60.7	60.7	0	60.7
	和田岬公園整備事業(都市公園)	和田岬公園	水俣市	直	1.2ha	H23	H24	H23	H24	38.3	38.3	38.3	0	38.3
	中尾山公園整備事業(都市公園)	中尾山公園	水俣市	直	26.4ha	H22	H23	H22	H23	71.1	71.1	71.1	0	71.1
	大崎鼻公園整備事業(一般公園)	大崎鼻公園	水俣市	直	1.7ha	H23	H24	H23	H24	71.2	71.2	71.2	0	71.2
	湯の児島公園整備事業(一般公園)	湯の児島公園	水俣市	直	1.1ha	H23	H26	H23	H26	139.5	139.5	139.5	0	139.5
古都及び緑地保全事業														
河川														
下水道														
駐車場有効利用システム														
地域生活基盤施設	案内板整備	-	水俣市	直	3箇所	H26	H26	H26	H26	27.8	27.8	27.8	0	27.8
	憩いスペース(ポケットパーク)整備事業	湯の児温泉	水俣市	直	1箇所	H24	H24	H24	H24	2.8	2.8	2.8	0	2.8
高質空間形成施設	市道湯の児線景観整備事業	市道湯の児線	水俣市	直	L=390m	H24	H24	H24	H24	59.0	59.0	59.0	0	59.0
高次都市施設														
既存建造物活用事業														
土地区画整理事業														
市街地再開発事業														
住宅街区整備事業														
地区再開発事業														
バリアフリー環境整備促進事業														
優良建築物等整備事業														
住宅市街地総合整備事業	拠点開発型													
	沿道等整備型													
	密集住宅市街地整備型													
	耐震改修促進型													
街なみ環境整備事業														
住宅地区改良事業等														
都心共同住宅供給事業														
公営住宅等整備														
都市再生住宅等整備														
防災街区整備事業														
合計										470.4	470.4	470.4	0	470.4

...A

水俣中央地区(熊本県水俣市)

面積

800 ha

区域

旭町1・2丁目、洗切町、栄町1・2丁目、江南町の一部、大園町1～3丁目、古賀町1・2丁目、古城1～3丁目、幸町、桜井町1丁目の一部・2・3丁目、桜ヶ丘の一部、塩浜町、汐見町1丁目、昭和町1・2丁目、白浜町の一部、陣内1・2丁目、大黒町1・2丁目、築地、中央公園、天神町1・2丁目、長野町の一部、南福寺の一部、西湯の児、初野の一部、浜、浜町1～3丁目、浜松町、百見町1・2丁目、平町2丁目、牧ノ内の一部、丸島町2丁目、港町1丁目、2・3丁目の一部、明神町の一部、湯の児の一部、八幡町1～3丁目

凡 例

色 別	用 途 地 域	容 積 率	建 ぺ い 率
	第一種低層住居専用地域	80/100	40/100
	第一種中高層住居専用地域	200/100	60/100
	第二種中高層住居専用地域	200/100	60/100
	第一種住居地域	200/100	60/100
	準住居地域	200/100	60/100
	近隣商業地域	300/100	80/100
	商業地域	400/100	80/100
	準工業地域	200/100	60/100
	工業地域	200/100	60/100
	工業専用地域	200/100	60/100
	指定なし	400/100	70/100
	都市計画道路		
	用途地域界		
	都市計画公園		
	臨港地区		
	駅前広場		
	立体交差		

※ 用途地域においては下記の表示になっています。

例 容積率 200 建ぺい率 60

0 100 500 1000 2000m

